

21003 人間福祉演習 I g Seminar on Human Welfare I		3 年次～ 通年 4 単位	
担当者	真鍋 守栄	履修可能学科	W必
		関連資格	教職(W)
サブタイトル	実践カウンセリング入門、人間理解のために		
授業内容 ・ ねらい	<p><目的>テキストから知識を得ること、ロール・プレイング（模擬カウンセリング）などの実習的な学習を通して、カウンセリングの基本を理解します。また、カウンセリングの学習に限定せず、自分を含めた人間理解につながる内容を目指します。人の言葉に耳を傾けること、自分の思いを(話すことで、書くことで)表現することを大事にしたいと思います。</p> <p><方法>①学生の発表(テキスト、資料)と全員での討論。テキストは「臨床とことば」(河合隼雄、鷺田清一)を用います。聴くことの重さ、人と人との距離、「語り」と「声」など、関わること、生きることについて考えるヒントを与えてくれます。②実習的学習。(a)カウンセリングのロール・プレイング、15分くらい、カウンセラー役の学生とクライアント役の学生が模擬カウンセリングをします。そのあとで全員で討論します。(b)構成的・非構成的エンカウンターグループ体験。③レポート発表会。一回の授業に2人位ずつ発表し、全員で討論します。</p>		
授業計画	01 オリエンテーション 02～04 エンカウンター・グループ体験 05～12 学生の発表と討論(テキスト、資料) 13～14 エンカウンター・グループ体験 15 まとめ 16 後期に向けてのオリエンテーション 17～20 レポート発表会 21～23 学生の発表と討論(テキスト、資料) 24～29 ロール・プレイング 30 総まとめ		
教科書 参考書	教)「臨床とことば」(河合隼雄、鷺田清一)、受講する学生の人数を確認して、真鍋が一括注文します。		
評価方法	レポートと平常点(出席、参加姿勢)		
事前準備学習 履修条件等			